

令和4年度 事業計画

1. はじめに

新型コロナウイルスの影響を受け、先行きが不透明な時代にあって、どのようにシルバー人材センター事業を推進するかが大きな課題となります。感染がなかなか収束せず、常時コロナ対策が求められている中での事業の推進は、非常に難しいものがありますが、業務の効率化や生産性を図るため、デジタル化を推進していくことが必要不可欠となります。

コンプライアンス遵守を徹底することが求められており、センターとしても、「会員心得」の周知により、しっかりと取り組んでまいります。また、令和5年10月に導入されるインボイス制度（適格請求書等保存方式）は、センター事業に多大な影響を及ぼすため、対策が急務となります。

このような状況の中、就業機会の拡大については、商工会議所やタウン紙でのPR活動の効果が現れており、少しずつではありますが、受注や問い合わせが増えてきており、引き続きPR活動を行ってまいります。また、就業のミスマッチ解消や退会抑制のため、会員へのアフターフォローも引き続き継続してまいります。

第3次中期計画（2018年度～2022年度）も最終年度となります。コロナ禍において目標達成が厳しい項目もありますが、次期へつなぐ1年とする必要があります。そして、今年度は第4次中期計画を策定いたしますが、今までとは違った生活様式の中でのセンター事業の推進を計画することが求められます。

地域、交流活動については、地域貢献として、ボランティア活動を実施いたします。また、好評の英会話教室、自主トレサークルに続くサークル活動等の開拓を行い、会員の生きがいの充実を図ります。様々なイベント等を開催することで、会員の皆さんが、就業も含め日々充実できるセンターを目指します。

広報活動については、各種団体や企業と連携し、センターの認知度の向上を目指し、効果的な広告宣伝を行います。また、会員向けサイト「Smile to Smile」の活用やショートメールサービスによる迅速な情報提供を拡充いたします。

今後も、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、会員の就業機会と交流活動の提供に努め、活気溢れる、魅力あるシルバー人材センターを目指してまいります。

2. 事業実施計画

(1) センター体制の強化

会員によるセンター運営の円滑化を図るとともに、事務局の体制強化を図るため、次の項目に取り組みます。

- ① 事務局体制及び財政基盤の強化の検討
- ② 生涯現役推進協議会との連携
- ③ 第4次中期計画の策定
- ④ コンプライアンス遵守の徹底
- ⑤ デジタル化の推進

(2) 会員数の拡大

会員数を増加させ、センターの拡充と活性化を図るため、次の項目に取り組みます。

- ① 入会促進策の推進
- ② 退会防止策の推進
- ③ 女性会員の拡充
- ④ オンライン入会の着手

(3) 就業機会の拡大

会員が希望する仕事や、高齢会員でも就業できる仕事を開拓するため、次の項目に取り組みます。

- ① 企業向けPRの実施
- ② 就業の適正化の推進

(4) 地域活動及び交流活動の活性化

会員が、ボランティア活動等を通じて地域社会へ参加し、生きがいの充実を図り、地域社会の活性化に貢献するため、次の項目に取り組みます。

- ① 地域貢献活動の推進
- ② 会員相互の交流機会の拡充

(5) 安全就業の推進

健康管理、体力づくりなどを促進し、安全就業の徹底を図るため、次の項目に取り組みます。

- ① 安全意識の啓発・徹底
- ② 安全巡回の実施
- ③ 健康管理・体力づくりのための事業の検討
- ④ 事故分析と防止策の推進

(6) 広報活動の充実

センターの認知度を上げ、効果的な情報発信を図るため、次の項目に取り組みます。

- ① 地域情報誌など様々な広報媒体の活用
- ② 会員への情報発信の実施